

－平成２５年度－ 事業及び会計報告書

自 平成２５年４月 １日
至 平成２６年３月３１日



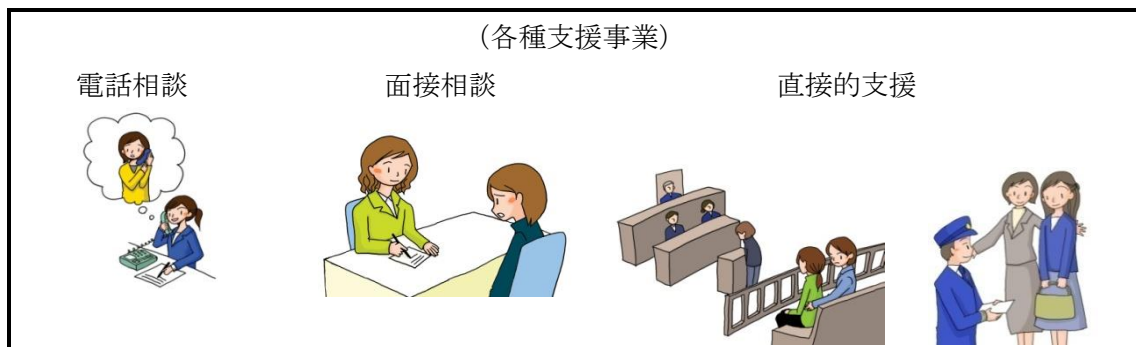
シンボルマーク

公益社団法人紀の国被害者支援センター

<事業報告書>

(1) 公益事業Ⅰ〔支援〕—電話相談・面接相談・付き添い等の直接的支援活動等の各種支援事業

～本事業は、電話を受けてから支援を開始する応答的支援に加えて、犯罪被害者等早期援助団体として、被害直後からニーズに応じた被害者支援を関係支援機関と連携して取り組みました。

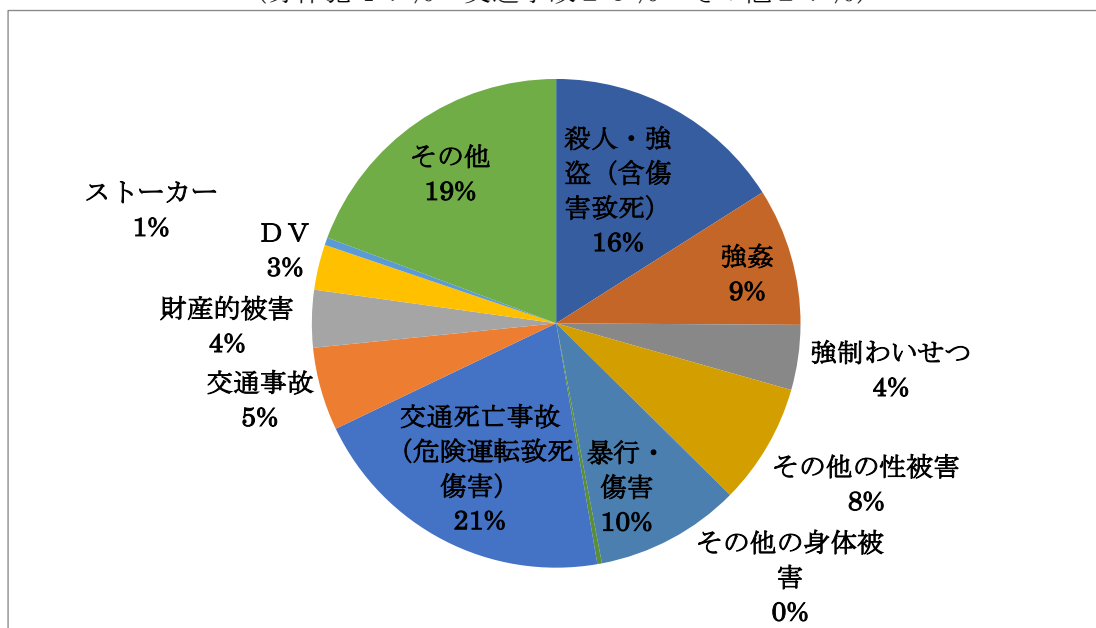


平成25年度支援結果

	電話相談	面接相談	直接的支援	計
	260	53	36	349

【態様別支援結果】

(身体犯47%・交通事故26%・その他27%)



〔直接的支援結果〕

付添支援（裁判所等）	3 1
給付金申請補助業務	1
代理傍聴	2
その他	3

〔支援の端緒〕

外部広報	4
マスメディア	(4)
広報啓発	1 9
H P	(4)
リーフレット	(1 5)
他機関からの紹介	2 2 1
警察教示・提供	(2 0 7)
他機関からの紹介	(1 4)
その他	7 1

* 不明 3 3

〔相談者と被害者の関係〕

本人	1 5 6
母親	5 9
父親	4 2
妻	1 6
子ども	5 0
知人・友人等	2 5

〔年齢別支援結果〕

～ 2 0 代	4 0
3 0 代～ 4 0 代	1 7 7
5 0 代～ 6 0 代	1 1 3
7 0 代～	1 8

〔市町村別支援件数〕

	電話相談	面接相談	直接的支援	計
--	------	------	-------	---

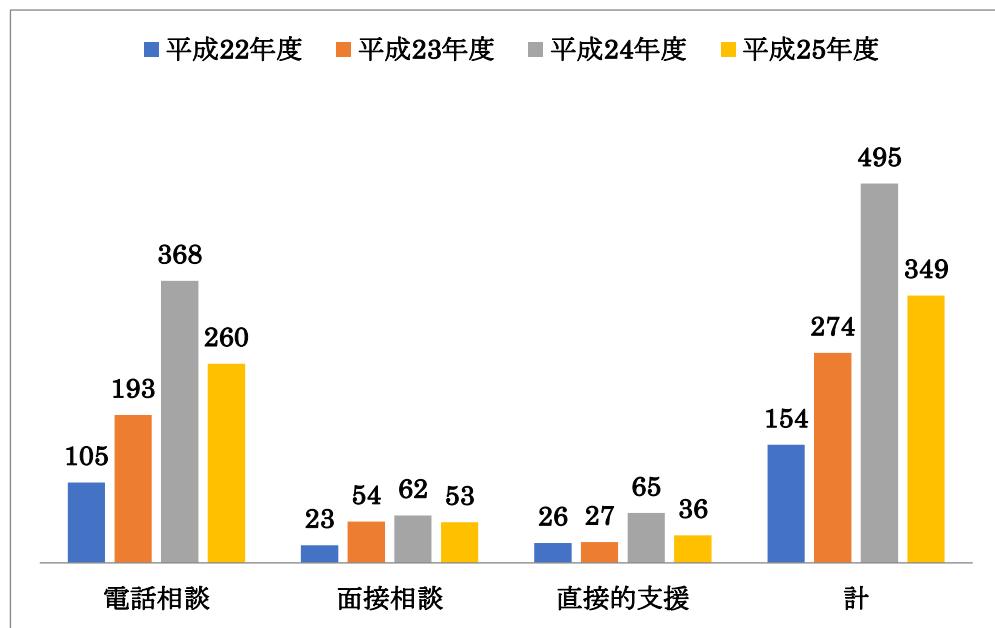
紀北地域				
計	(4 0)	(1 3)	(5)	(5 8)
岩出市	5			5
紀の川市	6	2	1	9
橋本市	2 1	1 0	4	3 5
かつらぎ町	3			3
九度山町	5	1		6
高野町				
和歌山市地域				
計	(5 5)	(8)	(4)	(6 7)
和歌山市	5 1	7	4	6 2
海南市	4	1		5
紀美野町				
紀中・紀南地域				
計	(1 3 6)	(3 0)	(2 4)	(1 9 0)
有田市	9	2	2	1 3
御坊市	2 8	4	1 1	4 3
田辺市	5 2	1 6		6 8
新宮市	1			1
湯浅町				
広川町				
有田川町	3			3
美浜町				
日高町	1			1
由良町	4	1	1	6
印南町	3	1	3	7
みなべ町	1	2		3
日高川町				
白浜町	1 1	2		1 3
上富田町	7	2	4	1 3
すさみ町				
那智勝浦町	9			9

太地町	1			1
古座川町				
北山村				
串本町	6		3	9

(* 県外等 2 9 2 3 3 4)

【年度別支援結果】

	電話相談	面接相談	直接的支援	計
平成 2 2 年度	1 0 5	2 3	2 6	1 5 4
*平成 2 3 年 2 月 1 7 日県公安委員会から「犯罪被害者等早期援助団体」に指定				
平成 2 3 年度	1 9 3	5 4	2 7	2 7 4
平成 2 4 年度	3 6 8	6 2	6 5	4 9 5
平成 2 5 年度	2 6 0	5 3	3 6	3 4 9



1 日移動無料相談（橋本市）の実施結果

日 時：平成 2 5 年 5 月 2 5 日（土）（10:00～16:00）
会 場：橋本市教育文化会館

(1) 相談者：和歌山弁護士会所属弁護士1名・和歌山県臨床心理士会所属臨床心理士1名及び紀の国被害者支援センター犯罪被害相談員 (2) 相談件数：面接相談5件・電話相談1件 (3) 主な相談内容：強制わいせつ事案対応・交通事故事案・DV事案対応
日 時：平成25年10月26日（土）（10:00～16:00）
会 場：橋本市教育文化会館
(1) 相談者：和歌山弁護士会所属弁護士1名・和歌山県臨床心理士会所属臨床心理士1名及び紀の国被害者支援センター犯罪被害相談員 (2) 相談件数：面接相談5件・電話相談1件 (3) 主な相談内容：迷惑防止条例事案対応・交通死亡事故の揭示手続き・DV事案対応・自己破産手続き


*なお、本事業実施に当たっては実施2ヶ月前から告知のためのチラシ配布等の街頭啓発を行うとともに、関係市町村発行の広報誌に掲載しそのPRを図った。なお、田辺市での1日移動無料相談は預保納付金対象事業のためP29に掲載しています。

女性臨床心理士による「性被害を含む女性専門相談」実施結果

態様別支援結果のとおり、性被害を含む女性の被害相談等が増加傾向にあり、平成24年度から新規事業として標記女性専門相談（第1・3土曜日13:00～16:00）を2ヵ年実施しました。 平成25年7月に性暴力救援センター和歌山（「わかやまmine」）が、県立医科大学付属病院内に設立され、支援活動が開始されたので、本事業を終了し、今後は、上記センターと連携し被害者支援に当たることになりました。 記 ○実施期間：平成24年4月～平成26年3月（2ヵ年） ○相談件数：4件（強姦2件・強姦未遂1件・その他の性被害1件）
--

（2）公益事業Ⅱ〔研修〕－支援を支える人材の養成及び支援スキルの向上研修事業

～本事業は、支援を支える人材育成事業で、本年度も下記の通り支援活動員養成研修前・後期・フォローアップ研修（12期生）・専門コース（11

期生)・直接支援員継続研修(1～10期生)等の開催・全国被害者支援ネットワーク主催近畿ブロック研修及び全国研修へ相談員等を派遣しました。



研修名	内 容 等		会場
紀の国被害者支援センター主催			
支援活動員養成研修（前期）	被害者支援－入門編 （１２期生） ＊フォローアップ研修含	6/14・6/21・6/28・7/5 受講者：延べ９７名	和歌山市
支援活動員養成研修（後期）		7/13・7/14（１泊２日の合宿研修） 受講者：延べ４７名	岩出市
専門コース	被害者支援－初級編 （１１・１２期生）	8/24・9/21・10/26・11/17・12/8・1/19・2/15 受講者：延べ１０４名	和歌山市
継続研修	支援スキル向上研修そのⅠ （１～１０期生）	6/15・6/29・9/6・11/19 受講者：延べ５７名	

支援対応検討会	支援スキル向上研修そのⅡ (1～10期生)	7/11 ・ 9/12/ ・ 11/14 ・ 3/13 受講者：延べ38 名	
実習	直接的支援 (公判付添実習)	10/25 ・ 11/28 ・ 1 /30 ・ 3/19 受講者：延べ31 名	
全国被害者支援ネットワーク主催			
「質の向上研修」	(上半期)	7/27・28 *4名参加	京都府
	(下半期)	2月8日～9日 *3名参加	大阪府
	 (修了書の交付式)		
「秋期全国研修」		10/18・19・20 *4名参加	東京都

(人材の現状：平成26年4月1日現在)

〔参考〕平成9年～25年までの「ボランティア講座」受講者総数 186名(1～12期生)

(3) 公益事業Ⅲ〔広報啓発〕－犯罪被害者等の置かれている状況や支援の重要性を広く県民に知ってもらうための広報啓発事業
～本事業は、犯罪被害者等の置かれている現状や支援の必要性を広く県民に知ってもらう広報啓発事業で、本年度は「犯罪被害者週間」を中心に11月を広報啓発強調月間と位置付け、多様な広報媒体を利用した広報啓発活動(講演会・街頭啓発・募金活動・広報ツールの制作・HP全面リニューアル等)を実施しました。

区分	職名	人数	備考
役員・正会員	犯罪被害相談員	(2) (3) (3))	(精神科医) (臨床心理士) (弁護士)
職員	犯罪被害相談員	(1) (4))	(精神保健福祉士)
	直接支援員	(16)	
	直接支援員補助者	(7)	
	ボランティア支援員	(8)	
	協力者	(12)	*後方支援を担当

項 目	内 容	備考
広 報 ツ ー ルの制作	啓発用チラシの印刷	10,000枚 街頭啓発・講演会等で 配付
	啓発グッズの制作	15,000冊 メモ帳 *街頭啓発等で配付
	ポスター	300枚 公共団体・支援機関、 団体・県内〆〆全店舗 に貼付



講演&コンサート（11/2（和歌山市））

- ・講演（出演：上野・坂田臨床心理士・犯罪被害相談員）
 - ・「音楽とこころの対話」（出演：上野臨床心理士・宝子）
- 参加者：150名



8/31（海南市）

県ボランティア連絡協議会主催
「ボランティアフォーラム」会場
（拝待体育館）



10/3（田辺市）

JR田辺駅前・オークワ
ピリオンシティ（13:00～）

10/17（橋本市）

JR橋本駅前・スーパーセン
ターオークワ
（13:00～）

		
10/24(和歌山市)	南海和歌山市駅前 (7:30～) *雨天のため中止	
11/28(和歌山市) JR和歌山駅前(7:30～)		
		
2/23(和歌山市)	和歌山市人権フェスタへ参加し、ブースを設置。センターPRを図るとともに参加者に関係資料を配布した。	
11/16・17 (和歌山市)	ビッグホエール(ブース設置)	
		
街頭募金	12/1(和歌山市) *都合で中止	JR和歌山駅前
	本年度は、各種講演会等の会場でも募金活動を実施し、多くの方々から募金していただきました。 1. センター募金箱 8,500円 2. 紀の国アバローム募金箱 380円 3. 講演会&コンサート会場募金箱 4,170円 4. 人権フェスタ会場募金箱 2,205円 計 (15,255円)	
HP全面リニューアル	当センターの職員がボランティアで全面リニューアル中です。 http://wakayama-kvsc.co.jp 又は紀の国被害者支援センター 検索	

(4) 預保納付金事業

＜そのⅠ－ファンドレイジング（自主財源調達）活動の展開＞

～ファンドレイジング（自主財源調達）３カ年計画に基づいて、「理事長以下役職員が先頭に立って賛助会員獲得に努めるとともに、ファンドレイザーが企業・各種団体を中心に賛助会員の確保や寄附金集め・募金箱の設置・犯罪被害者支援自動販売機の設置・ホンデリングの実施」等自主財源調達のため４つのファンドレイジング手法を用いて次のとおり活動を展開しました。

ファンドレイジング手法その一 正会員・賛助会員及び寄附者の確保

【１】４月～１０月 ファンドレイジング実施のための準備

１．ファンドレイジング担当者（ファンドレイザー）の雇用

- ・雇用者：浅利 武（紀の国被害者支援センター事務局長・犯罪被害相談員）
- ・雇用期間：平成２５年４月１日～平成２６年３月３１日の１年間
- ・ファンドレイザーの業務

～ファンドレイザーの業務は、３ヶ年計画に基づいて、自主財源調達活動（企業・各種団体を中心に賛助会員の確保や寄附金集め・募金箱の設置・犯罪被害者支援自動販売機の設置・ホンデリングの実施）を展開する。

２．企業等訪問リストの整理

- (１) 紀北地方（岩出市・紀の川市・橋本市・かつらぎ町・九度山町・高野町）の各企業・団体をリストアップ

【平成２５年度】

企業等名	リストアップ
１．工場立地法企業	岩出市１社・紀の川市１７社・橋本市及び伊都郡７社
２．企業誘致企業	橋本市及び伊都郡９社・紀の川市８社
３．従業員５０人以上の企業	岩出市２社・紀の川市１０社・伊都郡２社
４．その他企業 (従業員５０人以下)	岩出市及び紀の川市１１５社・橋本市及び伊都郡 ９７社 ＊内従業員２０人～５０人以内の会社
５．各種団体	紀北地方医師会・薬剤師会・農業協同組合・その他団体
市町村別訪問企業等	
・岩出市 ６０社 ・紀の川市 ８１社 ・橋本市 ７１社 ・伊都郡 ４４社（九度山町 ７社・かつらぎ町 ３０社・高野町 ７社） 計 ２５６社	

- (２) 紀中・紀南地方（有田市・御坊市・田辺市・湯浅町・広川町・有田川町・美浜町・日高町・由良町・印南町・みなべ町・日高川町・白浜町・上富田町・すさみ町・那智勝浦町・太地町・古

座川町・北山村・串本町) の各企業・団体をリストアップ

【平成26年度】

企業等名	リストアップ
1. 工場立地法企業	有田市及び有田郡12社・田辺市及び西牟婁郡4社・御坊市及び日高郡17社・新宮市2社
2. 企業誘致企業	有田郡2社・日高郡6社・田辺市及び西牟婁郡9社
3. 従業員50人以上の企業	有田市11社・日高郡9社・田辺市12社・新宮市2社
4. その他企業 (従業員50人以下)	有田市及び有田郡385社・御坊市及び日高郡193社・田辺市及び西牟婁郡474社・新宮市及び東牟婁郡184社 *内従業員20人～50人以内の会社
5. 各種団体	紀中、紀南医師会・有田薬剤師会・農業協同組合・漁業協同組合・その他団体
市町村別訪問企業等	
・有田市・有田郡 100社 ・御坊市・日高郡 109社 ・田辺市・西牟婁郡 129社 ・新宮市・東牟婁郡 53社 計 391社	

(3) 和歌山市地域(和歌山市・海南市・紀美野町) の各企業・団体をリストアップ

【平成27年度】

企業等名	リストアップ
1. 工場立地法企業	和歌山市29社・海南市及び海草郡11社
2. 企業誘致企業	和歌山市9社・海南市7社
3. 従業員50人以上の企業	和歌山市70社・海南市及び海草郡13社
4. その他企業 (従業員50人以下)	和歌山市及び海南市711社
5. 各種団体	医師会・歯科医師会・獣医師会・薬剤師会・行政書士会・司法書士会・社会保険労務士会・税理士会・土地家屋調査士会・弁護士会・生活協同組合・その他団体

3. その他の準備業務

(1) 「パンフレット及び払込取扱票」の印刷

	入札結果	
	枚数	金額
パンフレット タイトル「あなたの会社の	2,000部	@95×2,000部=199,500円

社員が犯罪の被害にあったとき」		(税込み)
リーフレット付払込取扱票	10,000枚	@16×10,000枚=168,000円 (税込み)

(2) ファンドレイジング用レンタカー借り上げ

- ・契約先：(株) トヨタレンタリース和歌山
- ・車種及び車番：ダイハツムーヴ/和歌山580わ638
- ・期 間：平成25年4月10日～平成25年3月31日
- ・金 額：882,000円 (月73,500円×12ヶ月)
- ・走行距離：現在走行残24,778km～使用後の走行残28,775km



(3) 企業訪問及び企業説明会用資料作成のための下記物品の購入

- ・ノートパソコン NEC VK19E/X-F 1台 60,800円
- ・データプロジェクター EPSON EB-X141 1台 72,800円



プロジェクター



パソコン

(4) 企業説明会用パワーポイントの制作

(5) その他：

- ・内閣府制作「犯罪被害者支援における企業の役割」CDコピー (内閣府了解済) *未実施 (予算不足のため)
- ・HPから情報発信中

【2】ファンドレイジング活動状況11月～3月

《その一 正会員・賛助会員及び寄附者の確保》

*会員獲得状況：下記の通り新規会員 (個人148人・法人19社) を確保。

	個人		法人	
	平成24年度 会員	平成25年度 継続・新規会員	平成24年度 会員	平成25年度 継続・新規会員

役員 正会員	2 4	2 1 (継続) 5 (新規)	0	0
賛助会員	1 5 7	8 6 (継続) 1 3 0 (新規)	1 0	7 (継続) 1 0 (新規)
寄附金	1 1	2 (継続) 1 3 (新規)	1 6	2 (継続) 9 (新規)

【会員の確保目標】

正会員・賛助会員・寄附者	3 カ年で ・正会員 5 名以上
	・賛助個人又は寄附者 2 0 0 名以上
	・賛助法人、団体又は寄附者 3 5 0 社以上

(1) 企業・団体等の訪問状況：

- ①理事長以下役職員が、賛助会員個人／法人の確保活動を展開。
- ②ファンドレイザーが、和歌山市内にある和歌山県経済 5 団体（理事就任依頼含む）、・各種協同組合 2 5 社、報道 1 9 社を訪問し賛助会員への参加を依頼及び報道には記事提供も行いました。
- ③ファンドレイザーが、紀北地方（岩出市・紀の川市・橋本市・かつらぎ町・九度山町・高野町）のリストアップした各企業・団体 1 5 0 社/2 5 6 社を訪問。未訪問企業等 1 0 6 社は引き続き平成 2 6 年度で訪問する予定。

(2) ファンドレイジング企業説明会の開催：企業会員の確保

- ①商工会議所連合会役員会 2 5 名（平成 2 6 年 2 月 2 7 日）：和歌山市

(3) 講演会等を利用してファンドレイジングの説明・勧誘：個人会員の確保

- ①警察学校 1 0 2 名（平成 2 5 年 4 月 2 3 日）：和歌山市
- ②民生委員・児童委員協議会会員 5 5 名（平成 2 5 年 8 月 2 0 日）：串本町
- ③那賀保護司会 5 0 名（平成 2 5 年 8 月 2 8 日）：岩出市
- ④警察学校 8 名（平成 2 5 年 9 月 2 5 日）：和歌山市
- ⑤講演&コンサート 1 5 0 名（平成 2 5 年 1 1 月 2 日）：和歌山市
- ⑥和歌山・人権啓発研究集会 1 7 0 名（平成 2 6 年 1 月 2 9 日）：和歌山市

②民生委員・児童委員協議会会員５５名（平成２５年８月２０日）：串本町



③那賀保護司会５０名（平成２５年８月２８日）：岩出市



⑤講演&コンサート１５０名（平成２５年１１月２日）：和歌山市



⑥和歌山・人権啓発研究集会１７０名アンケート結果から

犯罪被害者早期援助団体の指定により、支援活動が積極的になった反面資金面が課題であり、その現状が今回の講演でよく伝わってきました。

(参考資料)

【会 員】

会員名	法人年会費	個人年会費
正会員	３０，０００円	１０，０００円
賛助会員	１０，０００円	２，０００円

ファンドレイジング手段その二ー紀の国被害者支援自動販売機の設置



【支援自販機第1号を設置】

- ・平成24年度自販機数 43台（収入済額1,310,608円）
 - ・平成25年度自販機数 50台（収入済額1,614,088円）
- *この他にも、設置に向け手続き中の自販機6台が、平成26年4月1日から稼働しています。

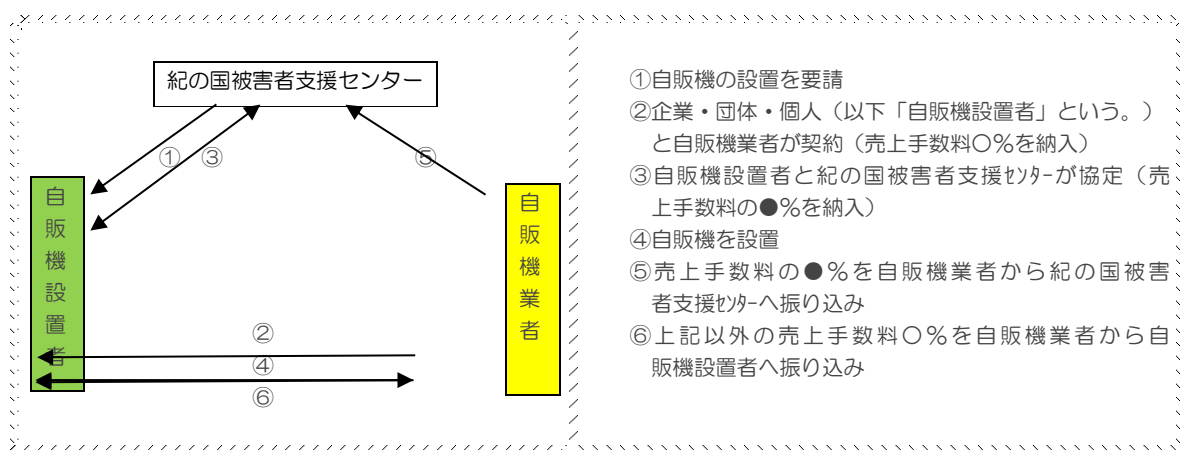
平成26年度4月1日～ 設置数56台

平成25年度設置状況

①小川工業（橋本市） 1台	④高野山観光ガイド （高野町）1台	⑦浦島ハーバードホテル（串本町）1台
②高野町役場（高野町） 1台	⑤吉田屋（高野町） 1台	（設置予定自販機） 警察関係施設6台
③高野町診療所（高野町） 1台	⑥聖愛苑（高野町） 1台	

引き続き、ファンドレイジング3ヶ年計画と連動し、「広告塔を兼ねた自販機を各市町村に1台設置しよう！」を合言葉に、県内の地方公共団体・各企業、団体、高校育友会等に設置をお願いしている。

ー仕組みー



3カ年の設置目標30台以上

支援自販機のデザインは、次のとおり基本色に淡いピンク色を用いたセンターオリジナルデザインとなっています。犯罪被害者支援の広告塔の役目もあり、カラーリングは自販機業者に負担していただくことになっています。



市町村別「紀の国被害者支援センター支援自販機」設置一覧表

市町村名	設置場所（平成26年4月1日現在）
和歌山市（海南市・紀美野町含む）25台	
和歌山市（23台）	オークワ本社1台・オークワ紀三井寺店1台・松源インター店1台・和歌山県交通安全協会1台・和歌公園2台（子ども広場・公園駐車場）・紀陽銀行本店2台・紀陽銀行事務センター3台・新日鉄住金1台・和歌山県警察本部1台・和歌山西警察署1台・和歌山東警察署1台・和歌山北警察署1台・和歌山県交通センター1台・警察学校等6台
海南市（2台）	オークワセンター海南店1台・海南警察署1台
紀北地域16台	
岩出市（6台）	メッサオークワ岩出店1台・赤井工作所2台・近畿大学生

	物理工学部 2 台・岩出警察署 1 台
かつらぎ町 (2 台)	溝端印刷 1 台・かつらぎ警察署 1 台
橋本市 (3 台)	オーストリート橋本 1 台・小川工業 1 台・橋本警察署 1 台
高野町 (5 台)	高野町役場 1 台・高野山総合診療所 1 台・高野山観光ガイド協同組合 1 台・吉田家 1 台・南山苑 1 台
紀中・紀南地域 15 台	
有田市 (1 台)	有田警察署 1 台
湯浅町 (1 台)	湯浅警察署 1 台
御坊市 (1 台)	御坊警察署 1 台
田辺市 (3 台)	田辺警察署 1 台・田辺免許センター 2 台
白浜町 (2 台)	ホテルむさし 1 台・白浜警察署 1 台
串本町 (3 台)	潮岬青少年の家 1 台・ハーバーホテル浦島 1 台・串本警察署 1 台
那智勝浦町 (1 台)	ホテル浦島 1 台
新宮市 3 (台)	新宮警察署 1 台・新宮免許センター 2 台



ファンドレイジング手段その三 紀の国被害者支援[募金箱]の設置



当センターは「被害者支援募金箱」を制作しました。受付等に置いていただけませんか。貴重なご浄財は、お一人おひとりの様のお気持ちを大切に、被害者支援に使わせていただきます。

○支援「募金箱」設置依頼先

1. 地方公共団体（県・30市町村依頼済）
2. 県内の各銀行
3. スーパー 等へ依頼中。

（成果物）

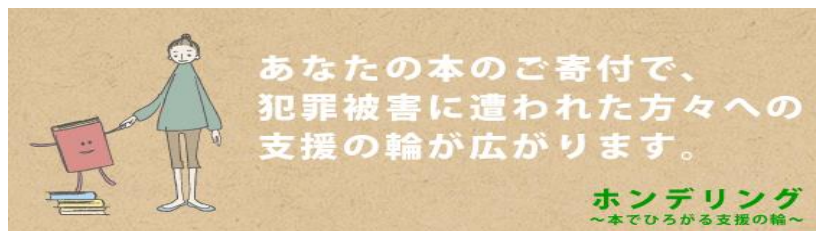
○平成25年度支援「募金箱」設置箇所

地方公共団体名	設置数
橋本市役所	2ヶ
串本町役場	2ヶ
九度山町役場	1ヶ

3カ年の設置目標100ヶ



ファンドレイジング手段その四 ホンデリングの実施



ホンデ、読み終えた本を寄附する気軽に参加できる社会貢献の一つです。読み終えた本をバリューブックスへ送ることで、全国被害者支援ネットワークを通じて毎年1月に、寄附者情報とともに寄附金が紀の国被害者支援センターへの振り込まれる仕組みとなっています。

○(株)バリューブックス

問合せTEL(フリーダイヤル): 0120-826-295

・5冊以上は送料無料です。・贈与承諾書を同封する。

・買い取り相当額がネットワークを通じて年1回1月に当センターに寄附金として振り込まれます。

○申込み方法

古本を寄贈(5冊から送料無料) → バリューブックス(古本の集荷・仕分け・査定・買い取り相当額の寄附) → ネットワークを通じて紀の国へ

本事業は、新規の自主財源確保事業で全国の仲間と一緒に取り組んでいる事業で、本年4月からスタートしています。街頭啓発でのチラシ配布、センターの理事・職員はじめ支援機関の皆様方・県民の皆様方(和歌山大学・近代生物理工学部・信愛女子短大・高野山大学等)に広くお声をかけさせて頂いております。

(参考) 新聞記事等掲載・放映報道機関

1. ニュース和歌山
2. わかやま新報
3. TVわかやま
4. 読売新聞
5. 朝日新聞
6. 和歌山放送
7. 和歌山市特番(和歌山放送)

*上記報道で多くの県民の方々から問い合わせがあり、ホンデリングに参加していただいております。

(成果物)

【ホンデリング参加状況】

平成25年4月1日～12月31日現在

(法人1社: 18冊・個人27名: 819冊・買取額: 12,745円)

＊平成２６年１月以降は、約２０００冊（内警察職員１４００冊）の古本をバリューブックスへ送ることが出来ました。

年度末の３月２４日に、田辺市民（８８歳）の方からお電話を頂き５３３冊の本を寄贈していただきました。犯罪被害者支援の必要性を広く県民の皆様方に知っていただくための手段の一つとして、今後も続けて参ります。

＜そのⅡ－地域支援－第２の支援拠点づくり等＞

～南北に長い当県にとって県内どこでも被害直後から支援が受けられるよう、紀南地域に第２の支援拠点（田辺市内に予定）の設置を目指し、地域支援兼務相談員の雇用・市町村窓口との連携体制の強化を図り、もって被害直後から各支援機関と連携して、被害に遭われた方々のニーズに応じたきめ細やかな支援に取り組むための「地域支援」に下記のとおり取り組みました。

記

１．第２の支援拠点の調査

（調査市町村）県の第２の都市 田辺市内で調査中。

現在、候補施設として田辺市民総合センターを田辺市と協議中。

２．市町村との連携事業

（１）市町村窓口との連絡や連携、サポート

（２）地域における市民や市町村窓口担当者を対象にした研修の開催

（岩出市：那賀地方保護司会研修の開催・串本町：民生委員、児童委員協議会研修会の開催）



民生委員、児童委員協議会研修会



那賀地方保護司会研修

（３）地域での広報啓発の実施

・街頭啓発：県・警察・市町村と合同実施



J R 橋本駅



J R 和歌山駅

- ・ 30市町村へポスターの掲示依頼/街頭啓発用チラシ及びグッズの配付/広報誌への掲載依頼

- (4) ファンドレイジング（自主財源）確保への協力依頼
- ・ 27市町村には平成26年度助成金継続依頼を、海南市には新規助成依頼を、岩出市・紀の川市へは助成復活依頼をお願いした。
 - ・ 自販機の設置依頼・募金箱の設置依頼・ホンデリングへの参加依頼

- (5) 犯罪被害者支援に特化した「条例」の制定依頼
～全国都道府県の条例制定状況：都道府県8府県/市町村332市町村）
参考：本県は犯罪被害者支援に特化した条例は制定されていません。

3. 1日移動無料相談（田辺市）の実施結果

日 時：平成25年5月11日（土）（10:00～16:00）
会 場：田辺市民総合センター
(1) 相談者：和歌山弁護士会所属弁護士1名・和歌山県臨床心理士会所属臨床心理士1名及び紀の国被害者支援センター犯罪被害相談員 (2) 相談件数：面接相談12件 (3) 主な相談内容：交通事故示談・DV事案、医療過誤、結婚詐欺への対応
日 時：平成25年10月12日（土）（10:00～16:00）
会 場：田辺市民総合センター
(1) 相談者：和歌山弁護士会所属弁護士1名・和歌山県臨床心理士会所属臨床心理士1名及び紀の国被害者支援センター犯罪被害相談員 (2) 相談件数：面接相談12件 (3) 主な相談内容：医療過誤対応・交通事故事案・近隣トラブル
